

# 公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2023年9月21日（木）12時20分～13時30分

場所： 名古屋大学（ハイブリッド開催）

出席代議員：相川祐理\*、赤堀卓也、秋山正幸\*、浅井歩、井岡邦仁、生田ちさと\*、石川遼子\*、  
稲見華恵\*、犬塚修一郎、井上剛志、今井裕、江草芙実\*、大朝由美子、大須賀健、  
太田耕司、大向一行、奥村幸子\*、柏川伸成\*、川端弘治、河野孝太郎、須藤靖、  
高橋慶太郎、田中雅臣、谷口大輔\*、津村耕司、土居守、当真賢二\*、富田賢吾、  
長尾透、野村英子、福江純\*、藤井友香、細川隆史、本間希樹、百瀬宗武\*、  
山崎典子\*、山崎了\*、横山央明、吉田直紀\*、米徳大輔（以上40名）

欠席代議員：小林千晶、富永望、林左絵子、藤沢健太

委任状：4通

出席理事：井田茂会長、勝川行雄庶務理事、町田真美庶務理事\*、鈴木竜二会計理事、  
酒向重行会計理事（野村英子副会長、百瀬宗武副会長は代議員を兼任している。）

出席監事：松尾宏、山田亨

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐\*、田口谷事務長補佐が出席した。

（無印は対面参加、\*はオンライン参加を示す）

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数44名のうち、開始時点での出席代議員が40名、委任状4通で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：井田茂

署名人：井田茂

また、現地会場の出席者とオンライン会議システムによる出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回代議員総会（2023年6月11日）の議事録が確認された。

## II. 議題

II-1. 「日本の天文学白書」創設について（資料3、高橋）

代議員有志により、特定のプロジェクト・波長に偏らないサイエンス中心の議論を取りまとめた白書の作成を天文学会主導で行うこと、そのための準備委員会の設立が提案された。代議員からは概ね賛成する意見が述べられたが、i) 白書作成メンバーの選出方法、ii) 白書の対象者、iii) 白書完成後に天文学会として承認するか及び白書公開方法、iv) 学術会議の分科会との関係性などに関して質問があった。これらに対しては、現状は未定であること、準備委員会が検討し、2024年春の代議員総会で報告する予定であると回答があった。委員会の設置は定款に

関わるため、「日本天文学白書」準備ワーキンググループとして設立を認めるかの可否を問い、賛成多数で可決した。

### III. 報告

#### III-1. 代議員総会の出欠表の記載について(資料4、勝川)

代議員総会の出欠表の記載順をこれまでの得票順から五十音順に変更することが報告され、特に異論はなかった。

#### III-2. 理事会(2023年9月19日)の報告(勝川)

2023年9月19日に開催された理事会の報告がなされた。本代議員総会で個別の報告事項となっていない研究奨励賞の内規改正についての報告内容が説明された。

#### III-3. 「シリーズ現代の天文学」について(資料5、勝川/鈴木)

前回の代議員総会で要請された「シリーズ 現代の天文学」の第2版および英語版出版の経緯、収支に関して報告した。

#### III-4. PASJからの報告について(資料6、勝川)

国際会議でブースを出展するなどの宣伝活動をおこなった事、出版ライセンス・掲載料支払いの新システムに移行したこと、PASJ増刊号の出版費が廃止されたことが報告された。代議員から学会員に対して投稿料の優遇などの拡充、一部の大学はOUPとのRead&Publish契約により投稿者の投稿料負担が無いことの周知を徹底することが要望された。

#### III-5. 「男女共同参画」について(資料7、石川)

日本天文学会が、「男女共同参画学協会連絡会」オブザーバー学協会会員から正規加盟学協会会員に変更したことが報告された。

#### III-6. 年会開催タスクフォースについて(資料8、野村)

これまで行ったオンライン・ハイブリッド開催の年会の状況を整理し、今後の開催形態、学会としてのサポート体制に関して議論したことが報告された。

#### III-7. 文科省ロードマップ2023サポートレターについて(資料9、井田)

文部科学省ロードマップ2023への提案にあたり、天文学会へサポートレターの依頼のあった3件について会長名でサポートレターを提出したことが報告された。

#### III-8. 学術会議・IAU分科会報告(山崎)

2023年7月16日に総会が行われ、10月1日に26期会員が決まる見込みであること、IAU分科会は25期中に設置し継続性が担保されたこと、有識者懇談会に関して、「未来の学術振興構想」と長期計画に対する分科会の記録は25期中に発出見込みであること、が報告された。

### [資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 公益社団法人日本天文学会代議員総会(2023年6月11日)議事録案

資料3 「日本の天文学白書」作成とそれに向けた委員会の設置、及び定期的全体集会の開催について

資料4 代議員総会における出欠表を50音順にすることについて

資料5 「シリーズ 現代の天文学」の運用について

資料 6 PASJ 編集委員会からの報告

資料 7 一般社団法人 男女共同参画学協会連絡会 オブザーバー学協会会員から正式加盟学協会会員への移行について

資料 8 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告

資料 9 文科省ロードマップ 2023 サポートレターについて

2023 年 9 月 21 日

議長・署名人： 井田 茂 印